

2025年 浜松ケーブルテレビ放送番組審議会 議事録

開催日時	2025 年 2 月 19 日（水）	開催場所	浜松ケーブルテレビ 3階 会議室
委員総数 7名			
・ 石川雅洋委員長（浜松商工会議所）・加藤智春（浜松市役所）・安形知哉（湖西市役所） ・ 永井宏昭（袋井市役所）・林慎司（浜松青年会議所）・森口真紀子（はままつ子育てネットワークぴっぴ） ・ 道喜道恵（浜松男女共同参画推進協会）			
事務局 浜松ケーブルテレビ株式会社			
・ 柴田憲宣（代表取締役専務）・鈴木良則（コンテンツ部 部長） ・ 竹中健二（コンテンツ部 マネージャー）・柿山貴洋（コンテンツ部 リーダー）			
審議番組	浜松市広報番組「推しはま！～みんなの推しはままつ～」		
議題 1 報告事項			
放送実績報告（2024年4月から2025年2月）レギュラー番組に関して放送実績を報告			
議題 2 審議事項			
放送番組審議			
□対象番組： 浜松市広報番組「推しはま！～みんなの推しはままつ～」			
□放送期間： 2024年9月1日(日) ～ 30日(月) 月曜～金曜 11:00 / 17:00 / 21:00 土曜・日曜 11:00 / 17:00			
□コンセプト： 浜松市の市政情報を市民に伝える広報番組。市政情報を親しみやすく発信し、市民の関心を高めることを目的とする。			
□番組概要： 2024年9月の放送では、浜松市の中山間地域をめぐるクイズラリー「はままつやまもリアドベンチャー」を紹介。お笑い芸人ジョイマンを起用し、市民に身近な情報を楽しく伝えるとともに、市長インタビューで市政情報を提供。			

放送番組審議内容

- 委員 > 視聴スタイルの変化として、若年層はNetflixやTVerなど時間に縛られない配信サービスを好むが、高齢者はテレビを視聴する傾向がある。デジタルとアナログの融合により、ウィンディの強みを活かした新たなサービス提供が可能ではないか。番組「推しはま！」では、特集コーナーから市長インタビューへの移行時に内容の落差を感じた。
- 委員 > 浜松市では毎月1本の市政情報番組を制作し、ケーブルテレビとYouTubeで配信しており、今年度からは、浜松ケーブルテレビに制作を委託している。行政としては、市民にどれだけ視聴してもらえたかが重要な指標となっており、従来の番組はYouTubeでは再生回数が数百～4,000回だったが、2024年度の「推しはま！」は平均16,000回に達した。市政情報をしっかりと伝える部分を守りながら笑いを取り入れ、バランスを取りつつ制作されている。
- 委員 > 視聴者からSNS でリアクションがあるのであれば、それを活用できるのではないかな。
例えば、SNS で市民の質問を募集し、市長に直接聞く機会を作るのも良いのではないかな。
- ウィンディ > 番組内で市民の質問を直接取り入れるのは尺やテーマの制約で難しいが、YouTubeのショート動画で市長のフリートークや市民からの質問への回答を発信している。
- 委員 > 特集コーナーと市長コーナーのトーンの違いが課題。市政情報を親しみやすく伝えるお笑い芸人の起用は有効で、湖西市でもイベント映像を活用した同様の番組制作の参考にしたい。
- 委員 > ケーブルテレビの活用で硬い行政情報も多様な表現が可能。袋井市でも番組枠設置を検討したい。
マスコミへの情報発信が一律のため、ケーブルテレビとの連携強化が必要と考える。
- ウィンディ > 袋井市とはシティプロモーション課と月1回の定例会を実施し、取材先情報を共有している。
引き続き連携を強化する。
- 委員 > 湖東地区が放送エリア外である理由は何かな。番組は工夫されており、「推しはま！」は面白い。
また、どの番組が一番視聴されたのか、統計はとっているのか。
- ウィンディ > 湖東地区がエリア外であるのはケーブル敷設や住宅密度による制約によるもの。
視聴率は取得していないが、チャンネル・ウィンディでは毎年番組アンケートを実施している。
アンケート結果では「みんなの週刊！だもんDE 浜松」が最も視聴された番組となった。
「推しはま！」は番組アンケートで475件の回答があり、SNSでハッシュタグ投稿による反応も多く、好評を得ている。また、YouTubeの視聴データを毎月、浜松市に報告している。

- 委員 > 浜松市のLINE公式アカウント（登録者40万人超）を活用した番組のプロモーションを提案したい。
発信のタイミングやサムネイルの工夫で視聴者拡大を期待する。「推し活」需要があり、ロケ地情報の提供で関心を高められるのでは。
- 委員 > 中田島砂丘などロケ地特集番組の企画を提案する。「推しはま！」の市長コーナーでは、市長の笑顔が少なく、番組の印象が硬く感じられた。親近感を高める工夫を。ドローン映像や成人式、浜松シティマラソンなど地域密着の取材は高く評価している。
この他、北遠地域のイベントでは来場者数が少ない傾向があり、北遠地域の取材強化を希望する。
- 委員 > 飲食店活性化のため、餃子や老舗女将をテーマにした番組や、外国人向け番組の制作を提案する。
取材費用は有料か。
- ウィンディ > 講演会や講座の収録は有料のことが多いが、飲食店などの取材は無料。北遠地域の取材強化やグルメ番組、外国人向け番組は今後検討する。
頂いた意見を参考に、今後の番組制作に取り組んでいく。

審議終了